当日の様子はこちらから！

ふぞく新聞 vol.2

教育学部附属坂出小学校

令和六年度舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）「芸術の秋 和楽器に浸る秋 ～ようこそ 附坂小へ～」を開催

午前中にワークショップ、午後からはプロと一緒に演奏会

伝統的な和楽器の魅力を体感できる、芸術の秋にぴったりの公演が開催されました。

今回の公演は山路副校長の「子供たちにとっていろんなことを吸収できる、とても大切な時間がコロナウイルスによって奪われました。その時間を取り戻すために今からは、本物に出会い、体験し、濃密な小学校での時間を過ごしてほしい」という思いからこのような機会を設定しました。

児童に和楽器の魅力を伝え、夢中にさせたのは、東京藝術大学卒業生を中心に結成された、和楽器オーケストラあいおいの皆さん。演奏会では「ジブリメドレー」など児童にもなじみ深い曲などで楽しませてくれました。松﨑代表は「私たちの目的は和楽器を身近に感じることで、興味を持ってもらうこと。演奏をただ聞くだけでなく、実際に自分がステージで演奏して、感動を味わってもらいたい」と話してくれました。午前中に6年生の2クラスがワークショップを体験し、箏、三味線、尺八など普段あまり見ることも触れることもない和楽器の持ち方や音の出し方などを教わりました。初めての楽器にとまどいながらも、きれいな音が出て褒められた時に見せたうれしそうな笑顔が印象的でした。体験した児童は「ちゃんとしたやり方じゃないと、音を出すだけでも難しい」と興奮気味に語ってくれました。

午後の演奏会ではワークショップを体験した6年生の代表がオーケストラと共演し、テレビコマーシャルでもおなじみの「海の声」を演奏しました。緊張の面持ちでのスタートでしたが、プロの演奏に導かれ、音を出すだけで苦労していたのが嘘のような見事な演奏でした。演奏後は友達と顔を見合わせ『にっこり』。満足感たっぷりのとてもいい表情でした。

子供たちにとって午前中に習い、午後にプロと一緒に演奏という離れ業は、大人になっても忘れられない貴重な体験になったはずです。日本の伝統和楽器の音色の美しさ、演奏する楽しさは児童の感性を磨くのにこれ以上ないものとなりました。

初めて箏に触れ、音の出し方を教わった児童が大半にもかかわらず、見事な演奏を披露してくれました。

「初めて見る楽譜でびっくり。伝統楽器を体験してみて、低学年の子にもぜひすすめたい」と体験した6年生児童。

今回の経験を通して和楽器を身近に感じてもらえたら嬉しいです

和楽器オーケストラあいおい代表 松﨑 晟山（まつざき せいざん）

教育学部附属高松中学校

防犯パトロール

アプリを活用して現地調査！

地域に潜む危険について、防犯パトロール隊の力を借りながら児童に伝えています。

未来社会を担う若い力が、地域に飛び出して防犯を考える

教育学部の大久保智生先生と防犯パトロール隊の皆さんから犯罪機会論を学んだ附属高松中学校の1年生が、附属高松小学校の3年生と防犯について考えました。児童が巻き込まれる事件の特徴を分析した上で、アプリ「見守ってミイマイ」を活用して小学校周辺に潜む危険を自らの目で確認しに現地調査を行いました。それらによって発見した情報を基に寸劇を制作して犯罪が起こりそうな「場所」の特徴を児童に伝えて注意を呼びかけたり、防犯パトロール隊の皆さんの協力を得ながら地域の危険箇所を探しに実際に校外に飛び出したりしました。

現代は、日本全体が人口減少の超少子高齢社会を迎えています。高松も例外ではありません。そのような未来において若い力はどのような社会を創造していくのか。誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりに向かって、附属高松中学校の1年生はこれからもチャレンジしていきます。

学習の様子はこちらから！

農学部附属農場

農場ニュース！ Farm News

①大小のサツマイモが出てきて大はしゃぎ！
②乾草のラッピングにお絵描きしました。
③建設機械に乗りました。

附属幼稚園高松園舎の園児たちが体験実習を行いました！

10月21日、附属幼稚園高松園舎の園児たちが農場にやってきました。芋掘り体験では当農場教職員の指導で圃場のサツマイモ（鳴門金時）を収穫し、大小様々なサツマイモを見て笑顔を輝かせていました。お絵描きコーナーでは牛の飼料となる乾草をラッピングしたものにそれぞれの好きなものを思い思いに描きました。農業機械コーナーでは職員の説明の後、トラクターや建設機械になるショベルカーに乗せてもらい大変満足そうでした。

医学部附属病院紹介コーナー

健康の窓

お女性待ち外来でしています。

詳しくはこちらから！

医学部
医学科 健康科学 教授 **塩田 敦子**（しおた あつこ）

ダイバーシティ推進室副室長
医学部副学部長（ダイバーシティ・働き方改革担当）
医学部附属病院女性外来診療部

女性はみんな頑張り屋さん。周りのことを考えて我慢したり、サポートしたり。思春期、月経に関する悩み、産後・子育てのしんどさ、更年期かな、という不調…。どこを受診したらいいの？病気というほどでも…という方、「女性外来」に相談にいらしてください。「話す」ことは「放す」こと、話すだけで元気になれることもあります。心身の不調のもとになるバランスの崩れについて、漢方のアプローチで考えます。